

# 学校と保護者・地域の協力バロメーター！ (学校運営協議会「ももし祭り」・桃四小)



桃井第四小学校では、3年振りに「ももし祭り」が開催されました。

今できることを、できる範囲で楽しむために、また、持続可能な地域を目指し、こういった祭りの在り方がよいのか検討を重ねてきました。

ももし祭り開催に向けた実行委員会及び連絡会には、地域、学校、PTA、学校運営協議会委員、学校支援本部員など多くの方が集まり、当日の流れや役割分担を話し合ったとのこと。それだけ、多くの方に支えられ、また多くの方が楽しみにしているのが、このももし祭りなのだと感じました。

当日も午前中から、多くの方が学校に出入りし、櫓を組んだり、出店の準備をしたりなど、子どものために一人ひとりが主体的に活動されていることを知りました。

2012年、桃四80周年の年、当時のPTA会長が地域に向けて「子どもたちにふるさとの祭りの思い出を残したい。」と呼びかけ、記念事業として桃四の校庭に櫓が立ちました。

その際、子どもから「来年もお祭りやってよね。」と声を掛けられた祭り実行委員で前学校運営協議会会長が「子どもの声を大切に、何ができるのか。」を学校運営協議会の熟議のテーマとして取り上げたことで、学校と何度も相談し、学校運営協議会で検討を重ねることで、ももし祭りが始まりました。

現在は、そうした経緯を第3代の学校運営協議会会長が引継ぎ、学校・家庭・地域の三者一対の取組として「子どもたちのために」を合言葉にそれぞれがそれぞれの立場でできることを考え企画運営される地域のお祭りで、今回で第8回(コロナ蔓延により2年間中止)を数えるそうです。

子どもの姿を見ていると、できる範囲で開催できてよかったと思う。



たくさん子どもたちが盆踊りを楽しんでくれた。

コロナに負けず、今できるももし祭りを目指してきた。